

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション・農林水産業分野

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
「森里海連環高津川流域ふるさと構想」特区 (島根県益田地区広域市町村圏事務組合)	4.3	4.9 進捗度 ・路網整備と計画的施業の推進 101% ・地域資源を活用した農村定住・交流促進 158% ・高津川流域の水質浄化及び川と海の水産資源の維持・増殖 118%	3.7 規制の特例等 ・銃器(空気銃)を用いて中型哺乳類を止めさしすること に係る鳥獣保護管理法の適用範囲の明確化(鳥獣保護管理法) 等 地域独自の取組 ・壊れない作業路網整備事業 ・森林資源活用事業 等	4.3	<p>・乾燥材出荷量の増加などに林業振興の成果が着実に現れている。製材に向かない木材等もチップとして津和野市のバイオマス発電所に供給され、地域資源の有効活用が図られている。この森林資源を生かした再生可能エネルギーを組み込んだ生活をアピールすることで定住人口の獲得が可能性もある。清流と併せたトータルの暮らしの提案を求めたい。</p> <p>・ほとんどの評価指標で目標を達成し、順調に進捗していることから、十分に優れていると判定した。森・里・海(川)の取組の中で、特に森における林業従事者の高齢化に伴う担い手確保に向けた対策は大きな課題であり、高津川流域ならではの魅力の発信にも力を入れることが望まれる。</p> <p>・特区としての目標に向けて順調に取組が進められている。また、新規就農者の確保については、ワイン生産、獣害対策が功を奏しており、期待したい。交流人口については、地域全体の目標と照らし合わせ、観光や将来の定住等と絡めて意義のある取組をしていくことが重要と思われる。</p> <p>・高津川を基軸とした森里海の連環を高める取組を丁寧積み重ねている。作業路網整備を着実に進め、付加価値の高い乾燥建材の出荷量の増加を高めている。農水産物は高津川流域の森里海の連環の中で育まれており、広域市町村圏の事務内容を通じた域内のつながりはあるが、域外と連携した取組は弱い印象。消費者や観光客が目に見える流域連携の一步進んだ取組に期待したい。</p>